



令和六年を迎え

第八代同窓会 会長
福島 堅一 (35 Ab)

旭農、永農同窓生の皆様におかれましては、令和六年の新春を元気に迎えられました事をお喜び申し上げます。

母校も後学期終盤に差し掛かり、三年生もいよいよ卒業を迎えようと、大きな希望を胸に頑張っていると思います。私たち同窓生としても皆様の社会への旅立ちに心からエールを送りたいと思います。

昨年母校旭農も開校百年を迎え盛大な祝賀の会をいたしました。母校の歴史百年は日本の国としても世界を相手にした戦争の歴史でもありました。特に太平洋戦争では、三百万人の尊い命が奪われたと云われています。

大切な家族が戦場に奪われ、帰りを待った家族も家を守り、農地を守り終わりの来る戦争を願ったと思います。

しかし、その厳しい中でも、若い力の教育を守り、厳しい世界の産業と戦う力を育てた事は、現在の日本の復興と、世界に誇れる地位の確立に大きな影響を与えたことに大きな感謝を申し上げたいと思います。

いつの時代でも、国の次代を背負う若い力の教育の機会を、守りとおした旭農同窓会の皆

様の大きな熱意と力に感謝を申し上げます。

永山地区にあつた永農は農作物と畜産業が大きな力でありました。農作業の中で農家の皆様にも楽しみがあり「草競馬」「家族で品評会」など私たち農家の若人にとつて楽しめるところでもあつたと思います。戦後の復興の力となり、発展の力となった事も、日本各地の農業高校を見ても、旭農生の活躍と成績を見ても明らかであります。これらの功績を見て、これまで支えてくれた、同窓生皆様に心から感謝申し上げますと共に、これからも益々の充実と発展を願ったところでもあります。

旭農のすばらしい教育環境、充実した設備を充分活かした教育が展開されますことを心から希望いたします。



旭農・永農創立百周年記念式典を終えて

第三十代 校長
近江 勉

永農 旭農同窓会の皆様には、日頃から本校の教育方針及び教育活動にご理解ご協力をいただくとともに、母校の発展のために物心両面から多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。今年度も「同窓会機関誌」永農通巻第六十号の発行に当たり、同窓会の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

なり、コロナ禍前後の対応に加え、全ての学校行事の見直し及び昨年末にはインフルエンザの大流行等、日常の学校生活を取り戻しつつもアフターコロナの対応に追われた二年間でありました。

さて、本校は今年度「創立百周年」を迎え、昨年十月四日（土）多くのご来賓、同窓生、PTA、旧職員、地域の皆様、本校生徒及び教職員等多くのご参列者と共に無事に記念式典を盛会のうちに終了する事が出来ました。改めましてご報告いたしますと共に、ご臨席いただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。

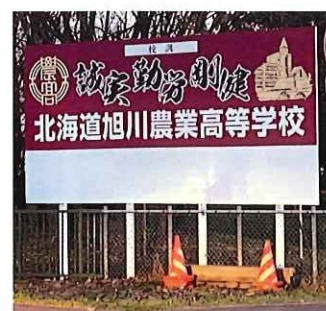
皆さまからいただきました協賛金による教育支援事業では、傷みが目立つ校旗と農業クラブ旗の更新、体育館での研究発表や行事に活用するための大型スクリーンの改修、各種行事などで活用するパイプイスの更新、雨天時や暑さ対策などの為に全学級数分の行事用テン

トの購入、更に旭川農業高校の校名や生徒の活躍をPRするため、学校前交差点の目立つ位置に大型看板の設置、吹奏楽部の楽器更新等、通常では出来ない大変多岐にわたる多大

な教育環境の整備に活用させていただきますました事をご報告しますと共に深く感謝申し上げます。

今後、各学科の特色を活かし、常に先進的な農業学習を通して、専門性を身に付けると共に命の大切さを学ぶことで、心豊かな人間性を育み、地域との関わりの中で社会に貢献できる人材の育成を目指します。

大正、昭和、平成、令和と時代を駆け抜け、国の基である農業教育一筋に百年を迎えた今、改めて、校訓「誠実 勤労 剛健」のもと、これまで歴代校長はじめ先輩諸氏が築いてこられた「永農魂」「旭農魂」を継承し、北海道農業の担い手教育の充実を図るとともに、次の百年を目指し、新たな事にチャレンジする生徒、これからの社会を考える生徒、部活動、農業クラブ活動で感動を生み出す生徒、あらゆる領域で生徒の可能性を支えていきます。同窓会の皆様には今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。





●令和5年決算・令和6年予算案

項 目	R5決算	R6予算	摘 要
前年繰越金	543,878	971,603	
正 会 員 会 費	918,000	930,000	卒業生155名×6,000円
雑 収 入	45,463	775	預金利息ほか
基金運用益金	2,759,545	2,252,622	国債益金
国債取崩受入	5,000,000	0	
合 計	9,266,886	4,155,000	

事務費	備 品 費	0	30,000	
	通 信 費	7,397	50,000	支部助成郵送他
	印 刷 費	0	20,000	封筒他
	消 耗 品 費	19,360	30,000	事務用品消耗品
	幹事活動補助	40,000	50,000	学校幹事活動費
小 計		66,757	180,000	
事業費	機 関 誌	242,128	300,000	機関誌印刷、発送費
	記 念 品	259,050	280,000	卒業生155名、担任4名
	慶 弔 費	0	60,000	
	諸 費	60,950	260,000	祝儀 他
	小 計	562,128	900,000	
役員手当	役 員 手 当	120,000	120,000	本部役員手当10,000円×12名
	旅 費	329,477	500,000	役員会旅費、総会旅費、支部総会旅費
	会 議 費	70,223	200,000	総会会場費、飲料代等
	教育振興助成	1,400,000	1,400,000	生徒活動費として母校へ
	支 部 助 成 費	180,000	300,000	支部への助成20,000円
	周年事業協賛金	5,466,698	200,000	周年事業積立金として
	予 備 費	100,000	355,000	
	小 計	7,666,398	3,075,000	
	合 計	8,295,283	4,155,000	

●令和6年 教育振興基金(国債運用基金額 140,000,000円)

基金額	利 息	税 金	基金運用益金
140,000,000	2,660,000	407,378	国 税
合 計	2,660,000	407,378	2,252,622

●令和5年度事業報告(R5.1.1~R5.12.31)

1月14日	令和4年度会計監査・第1回役員会
1月28日	令和5年同窓会総会
2月28日	同窓会入会式(新入会員153名)・第2回役員会
3月 1日	第75回卒業式・機関誌「旭農」第59号発行
7月11日	第3回役員会
12月 2日	第4回役員会
12月23日	第5回役員会

●令和6年度事業計画(R6.1.1~R6.12.31)

1月13日	令和5年度会計監査・第1回役員会
1月27日	令和6年同窓会総会
2月29日	同窓会入会式(155名)・第2回役員会
3月 1日	第76回卒業式・機関誌「旭農」第60号発行
4月~10月	第3回役員会・教育振興基金による母校への助成 母校諸行事に対する後援・母校生徒会、農業クラブに対する後援 支部組織の活動推進・その他
11月中旬	令和7年同窓生の集い第1回実行委員会
12月中旬	令和7年同窓生の集い第2回実行委員会

旭農同窓会総会(報告)について

同窓会 幹事長
山 川 勝
(38 Ab)

令和6年旭川農業高等学校同窓会総会が1月27日(土)アイトホテル旭川を会場に開催されました。

同窓会会則第10条⑤総会の議長及び代議員総数の過半数をもって決議し、可否同数の場合には議長が定める。支部長及び代議員(支部40名、代議員200名以上)の支部は代議員16支部の出席は17支部の支部長並びに8名の代議員が出席12の支部から委任状をいただき総会は成立いたしました。

神居支部の中川明雄(43 Ab)を議長に、(1)令和5年度事業報告(2)令和5年度決算報告並びに監査報告、(3)令和6年度事業

計画案、(4)令和6年度予算案、(5)令和7年同窓生の集い(当番期の確認と運営、(6)役員改選(任期令和6年までを確認)の6議案について審議いただき無事承認されました。この他、末広支部岡支部長より100年記念事業について報告を求められ、事務局から10月14日開催された式典や祝賀会、教育支援事業等について説明がありました。同窓生や関係機関、企業にお願いしていた協賛金については目標額200,000円に達したことが報告され、校旗や農業クラブ旗、看板、体育館ステージのスクリーン、旧校舎の修繕、記念誌等にあらわれていることとす。協賛金は会計決算が終わり次第第3集され3月末までは解散を予定しております。

100周年という大きな事業を終了させ新たな次の100年に向け、母校旭川農業高等学校と同窓会がますます発展していくことを切に願っています。

学 科 名	1年生			2年生			3年生			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
農業科学科	21	16	37	26	12	38	24	16	40	71	44	115
食品科学科	9	31	40	11	28	39	7	32	39	27	91	118
森林科学科	21	9	30	36	3	39	34	6	40	91	18	109
生活科学科	0	31	31	1	38	39	2	34	36	3	103	106
合 計	51	87	138	74	81	155	67	88	155	192	256	448

全校生徒数(6年1月31日現在)

進路動向(6年2月1日現在)

就職については昨年度に引き続き公務員希望者が多い年でした。受験する公務員団体は国から地方自治体まで幅広いのも昨年度同様です。また民間就職希望者の希望職種は多種多様にわたっており、

進学希望者は全国的に増加傾向にあります。本校は昨年度よりも数名増加しており、今後とも増加することが考えられます。

本校の進路指導は企業や上級学校を招き、生徒にとって刺激のあるキャリア教育を目指して取り組んでいます。

今後とも進路実現に向けて生徒をサポートしていきます。

	希望者数	決定数	決定率
進 学	76	70	92%
就 職	73	73	100%
自 営	0	—	—
その他	6	0	—
全 体	155	143	92.3%



農業用ドローン講習会



全道共進会出場



純米酒「歩」完成発表会

農業科学科



旭農味噌仕込み



旭高砂牛食育交流



カマンベールチーズ製造

食品科学科



旭農近況報告


 頭 誠
菊 地

同窓会員の皆様におかれましては、本校の教育活動に対して、さまざまな面でご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、機関誌発行にあたり、生徒の近況を報告いたします。まず農業クラブ活動についてですが、昨年の8月23日、25日に本校を当番校として開催された全道実績発表大会は、旭川市とさわ市民ホールを会場に行われ、初めての夏開催ということで、事前のリハーサル、暑さ対策など様々な事を想定して準備を進め、大会の成績もⅡ類、Ⅲ類において最優秀賞を獲得するという素晴らしい結果になりました。今回の経験は、今後の大会運営に活かすことのできる貴重なものとなりました。熊本県で開催された農業クラブ全国大会では、平板測量競技、農業鑑定競技、プロジェクト発表に出場し、平板測量競技、農業鑑定競技(農業、森林、生活)、プロジェクト発表、分野Ⅱ類食品科学科専攻班、分野Ⅲ類農業科学科専攻班が優秀賞を獲得するという快挙を成し遂げました。

校内各種行事においても創立100周年を迎え、本校の歴史と伝統を引き継ぎ、生徒会や農業クラブ執行部役員が企画に工夫を凝らして実施し、学校祭、

収穫祭では、生徒の生き生きとした表情が印象的でした。

また、高校生活の中で最も思い出に残る見学旅行は、沖縄県で3泊4日の旅程で実施し、平和学習や学科別観察体験学習等、当初の目的を達成することができました。

最後になりますが、旭農生の創意工夫を図る姿勢は、100年の歴史の中で培われた伝統だと感じています。これからも「永農旭農精神」を次世代に繋ぎ、より層の発展を願います。同窓会の皆様には、今後も本校生徒の活動に対し、温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

クラブ活動

◆ソフトテニス部

第76回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会

〈女子ダブルス〉

3F 餌取梅 3A 佐々木綾香

◆弓道部

第76回北海道高等学校弓道競技大会

〈女子団体〉

3A 水上響愛 3M 澁谷美穂

3M 佐々木結衣 3M 濱野希美

3L 有木世風

第44回北海道高等学校弓道選抜大会北海道大会

〈男子個人〉

2F 阿部優心(3位)

2F 糸田愁史(6位)

◆陸上部

第76回北海道高等学校陸上競技選手権大会

〈男子円盤投げ〉3F 谷晴登

〈男子ハンマー投げ〉2M 笹原星

〈女子走高跳〉1F 村上ひかり

〈女子砲丸投げ〉〈女子円盤投げ〉

2M 大田穂乃華

第39回北海道高等学校新人陸上競技大会

〈男子走幅跳〉2F 佐藤大地

〈男子ハンマー投げ〉2M 笹原星

〈女子砲丸投げ〉2M 大田穂乃華(2位)

◆卓球部

2023年北海道卓球選手権大会兼全日本予選会

〈女子〉1M 鈴木梨央

第51回北海道高等学校選抜卓球大会

〈女子ダブルス〉

2M 佐々玲央 2L 後藤千尋

〈男子シングルス〉

1A 藤田龍 1A 王生悠斗

◆写真部

令和5年度北海道高等学校文化連盟第47回全道高等学校写真展研究大会

1A 小林夢芽(優秀賞)

3L 岩崎白香(入選)

2M 中野 桜(入選)

1M 齊藤あかり(入選)

2L 客野愛奈(佳作)

1F 小野聖翔(佳作)

1A 齋藤 蒼

◆書道部

第57回北海道高等学校文化連盟全道高等学校書道展研究大会

2L 土門美里 1L 有富心紀

◆放送局

高文連道高等学校放送発表大会

〈ラジオドキュメント部門〉

〈研究発表部門〉

〈テレビドキュメント部門〉

〈テレビドキュメント部門〉

◆農業クラブ

令和5年度北海道学校農業クラブ連盟全道意見発表大会

Ⅱ類 3L 大和田奈那(優秀賞)

令和5年度日本学校農業クラブ北海道連盟全道技術競技大会

「フラワーアレンジメント競技」

3L 有木世風(最優秀賞)

「情報処理競技」

3M 中島想(最優秀賞)

令和5年度日本学校農業クラブ北海道連盟第76回全道実績発表大会

Ⅱ類 乳加工班(最優秀賞)

3M 瓜屋舞花 3M 遠藤あさめ

3M 濱野 希美

Ⅱ類 地域資源活用班(優秀賞)

3M 堀江璃和 3M 本多沙羽

Ⅲ類(水稲班)(最優秀賞)

3A 殿山航右 2A 澁谷くらら

Ⅲ類 微生物班(優秀賞)

3M 小笠原なみ 3M 棚田しずく

第74回日本学校農業クラブ全国大会

令和5年度熊本大会

「プロジェクト」

Ⅱ類 乳加工班(優秀賞)

3M 瓜屋舞花 3M 遠藤あさめ

3M 濱野 希美

Ⅲ類(水稲班)(優秀賞)

3A 殿山航右 2A 澁谷くらら

【農業鑑定競技】

〈農業〉3A 山内優斗(優秀賞)

〈森林〉1F 相馬蒼生(優秀賞)

〈生活〉1L 三好雪月(優秀賞)

【平板測量競技】(優秀賞)

3F 奥村優介 3F 齊藤幸音

3F 立岩樹 2F 餌取雛菊

第22回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト(福井大会)

3L 有木世風



第43回全道意見発表大会



林業技術現場体験学習



下川実習



演習林実習

森林科学科



ガーデニング甲子園



フラワーアレンジメント



プリムラ販売会取材

生活科学科

た
よ
り

◆100年記念事業

大正12年に開校し100年という歴史を刻んできた旭川農業高等学校ですが、令和5年まで輝かしい伝統が引き継がれ100周年の記念すべき事業を無事終えることができました。多くの来賓や恩師、関係機関の方々、PTA、在校生の出席のもと記念式典並びに祝賀会が開催されました。コロナの影響もあり同窓会の各支部にお願いし人数を制限した中で開催したこともあつて、同窓生の多くの皆さまに案内できなかったこと誠に申し訳ありませんでした。

今後も母校のために同窓会としても支援しながらともに発展していきたいなあと考えております。同窓生の皆さまにおかれましてもご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

○10月14日(土) 14時 記念式典(旭川農業高等学校校体育館)
式次第
(1)修礼 (2)開会の辞 (3)物故者弔慰黙祷
(4)国歌斉唱 (5)式辞 (6)協賛会長挨拶
(7)事業報告 (8)感謝状贈呈
(9)受賞者代表挨拶 (10)祝辞 (11)来賓紹介
(12)祝文・祝電披露 (13)生徒代表挨拶
(14)校歌斉唱 (15)閉会の辞 (16)修礼

○10月14日(土) 17時 祝賀会(アートホテル旭川)
式次第
(1)開会の言葉 (2)主催者挨拶 (3)祝辞
(4)来賓紹介 (5)謝辞 (6)祝杯
(7)祝宴 (8)万歳三唱 (9)閉会の言葉

◆各支部の助成について

コロナやインフルエンザの流行により、まだまだ以前のような支部活動は実施出来ていないようですが、これまでと同様に本部から助成させていただきまします。支部の事業計画並びに決算、予算書を作成の上本部まで報告願います。



永農・旭農同窓会本部役員・幹事

会長	福島 堅一 (35Ab)
副会長	長勢 孝志 (40Aa)
副会長	木村 峰行 (43A)
副会長	星 秀隆 (47H)
副会長	大塚 勝子 (50L)
監事	高井 優朗 (46A)
監事	松原 朗 (48Ab)
常任理事	角谷 眞一 (45A)
常任理事	堀江 かよ子 (50L)
常任理事	佐藤 慎二 (61Aa)
幹事	山川 勝 (38Ab)
事務局	長 齊藤 睦 (57H)
事務局	会計 愛澤 謙太 (H11A)
事務局	書記 伊藤 利浩 (63F)
事務局	齊藤 浩義 (58Aa)
事務局	岸本 修

〈事務局〉旭川市永山町14丁目153 母校内
☎(0166)48-2887・1320 ㊟48-1360

2025年 会員多数ご参加ください

永農・旭農同窓生の集い

開催日	2025年1月25日(土)
時間	14:30~
場所	アートホテル旭川(予定)
顧問期	44・49・54(卒期)
委員長期	59(卒期)
当番期	H1・H6・H11・H16・H21 H26・H31・R6(卒期)

編集後記

旭川農業高等学校同窓会機関誌「旭農」(永農通巻60号)をお届けいたします。編集に際し原稿の執筆、資料、写真等をご提供いただきました方々に深く感謝申し上げます。機関誌「旭農」は同窓生の皆さんとの絆であり、本部活動や支部活動、母校後輩たちの活躍を共有する場です。

同窓生各位のご健康とご多幸を母校より願っております。

逝去された会員の皆さまのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(文責 事務局出版)

永農・旭農同窓会 支部組織役員一覧 (令和6年1月31日現在)

支部名	支部長名(卒期)	郵便番号	住 所
旭川中央	安田 佳正(59F)		
旭川東北	飛騨野正幸(37Aa)		
旭川北	奥山 義三(41F)		
永山北東	渡邊 佳則(39Aa)		
永山西(事務局長)	松原 朗(48Ab)		
東旭川	古屋 勝(40A)		
旭正	谷口 威裕(42Aa)		
東鷹栖	柿林 孝志(42Ab)		
末広	岡 康弘(29H)		
神居(代)	中川 明雄(43Ab)		
神楽	辻 義照(26Fc)		
西神楽	前田 時男(46A)		
江丹	橋本 祐一(旧24F)		
当麻	角谷 寿保(48Ab)		
比布	伊藤喜代志(48Ab)		
鷹栖	松原 剛志(47Aa)(代)		
愛別	高井 優(46Ab)		
上川	徳光 勝俊(H38)		
東川	高田 勉(47Aa)		
東神楽	山本 康宏(51Ab)		
美瑛	照本 清光(36Aa)		
和寒	中道眞佐義(46Ab)		
富良野	岸本 和彦(48H)		
(連絡先 幹事長)	土橋 頼浩(FH4)		
中富良野	安井 士八(43Ab)		
上富良野	工藤 次郎(46Ab)		
名寄	和田 敏明(45Aa)		
岩見沢	高橋 義輝(51H)		
小牧	工藤 隆(46F)		
日高	柏崎 雅(新25Ab)		
留萌	橋村 博(55Aa)		
浜前	東雲 良三(22Fb)		
苫前	柴田 雅紀(H1Aa)		
札幌	伊林 好(44Ab)		
北見	中村 和義(30F)		
網走	春田 淑郎(28Fa)		
紋別	本田 勝樹(37H)		
十勝	宮下 光明(54F)		
釧路・根室	池田 昌己(50F)		
滝川	清造富二夫(33Ab)タ		
東	高田 良實(A42Aa)		